

臨時幹事会 議事録

文責：山田 基生（東北大学）

日時：

令和2年6月20日 21時～

zoom を利用

議題

1. インカレロング縮尺に関して
2. インカレ提案資料について
3. 新入生向け動画に関して

出席者：

- ・日本学連幹事（16名）
- ・名雪 青葉(筑波大3年)

（注1）議論の本筋と関係のない会話は適宜削除している。

（注2）議論の流れを明瞭にするため、一部発言の順番を入れ替えている。

（以下、議事録開始）

1. インカレロング縮尺に関して

【谷野】

インカレにおける問題で様々な切り口があったが、縮尺に関しては幹事で話し合って今回の幹事会で決めたい。

【谷野】

学連加盟員全体に向けたアンケートは(資料 1-1)の通りであった。

(資料 1-1 日学アンケート所感)参照

主に2年生が、練習機会の不平等や上手く対応出来ない可能性があることから1:10000を望む声が多かった。3、4年からは1:15000を望んでいる人がほとんどであった。その理由としてはセレクション通過レベルであれば1:15000にも対応できるという意見が中心であった。実行委員会側からもインカレ実施規則に則り1:15000で行いたいとの話が聞かれた。

縮尺に関してなにか意見があるか。

【棚橋】

実行委員会側はどちらでもいいのか。

【谷野】

実行委員会は決定を日本学連に委ねており、どちらでも対応できる。

【粟生】

今回参加している幹事がどちらの意見なのか知りたい。

【谷野】

投票機能を用いてアンケートを行うので、現時点で1:10000,1:15000どちらかを選んで欲しい。

→ (1:10000 3人, 1:15000 11人)

【谷野】

1:10000に投票した人に向けて、どういう観点で1:10000がいいのか理由を聞きたい。

【菊池】

セレクションに通るレベルなら大丈夫であるという意見も納得できるが、自分自身1:15000で走った経験がなくインカレで走るの少し心配である。

【谷野】

幹事は3年生以上が多いのでバイアスがあることが考えられるが、幹事としていろんな学年の状況を踏まえて考えて欲しい。2年生の意見として永山の意見も聞きたい。

【永山】

インカレロングはこれまで1:15000で行われてきており、またインカレ選手権の特別感を考えると1:15000が良いのではないかな。

【谷野】

加盟員に行ったアンケートでもインカレ選手権クラスの特別感を期待しているように感じられた。

【片岡】

1:10000に投票した。

1:15000と1:10000の違いがあまりよくわかっておらず、1:10000でロング競技が行えるのなら、見やすい方が良いのではないかと考えた。

競技的な面での1:15000のメリットがあれば教えていただきたい。

【谷野】

個人的には、永山の言うようにインカレ実施規則でこれまで1:15000で行われてきていること、1:15000で行うことで使用できる面積も増え、一般クラスで入れないエリアも使えることが挙げられる。

【片岡】

A3にしてもコースを変えず1:10000で行うという解釈であったが、コースが変わるなら1:15000の方が良いと思う。

【谷野】

紙のサイズに関して実行委員会とは話してはいないが、1:10000にするとコースが変わる可能性は考えられる。

【原】

北東セレは真夏に行われ、慣れない2年生が走るとなると熱中症のリスクが高まることから1:10000に投票した。

【谷野】

ほとんどの地区で8月中旬から9月上旬にロングセレが行われ、今年度は特に練習不足のまま1:15000でセレを行うことへのリスクは問題である。

【原】

例年ある東大大会がないので、練習機会もないまま炎天下で走るのは少し不安だと考えた。

【谷野】

北東インカレまでのロングを練習する機会としては7月19日のロング練習会、しおや4 days 最終日が挙げられる。北東学連として、練習機会の少なさを踏まえてセレの妥当性について議論して欲しい。

【伊部】

特にこだわりはないので成り立つならどちらでも良い。走ったことのない人は不安ではあると思うが、全日本大会のM21A,M20Aも1:15000である。また、縮尺が変わると迷ってしまう人が増えるという考え方に疑問を感じた。

【谷野】

縮尺が変わっても競技時間を超えるリスクがあるかどうかと言われると判断が難しい。地図の縮尺が変わると30~40分タ

イムが変わるとは考えにくい。

【永山】

2年生にとって今年度1:10000で行うと来年度も1:15000への経験が少ないままインカレに出場することになるのではないかと。

【谷野】

来年度に関しては学内練習、ロングセレ、ロングの大会が行われると思うので、経験値を詰める環境があると思う。しかし1:15000で走る機会が少し減ってしまうことは確かである。

【谷野】

少し時間を与えるので、これまで議論してきたリスク、インカレの特別感、練習不足といった観点を踏まえてもう一度どちらが良いか考えて欲しい。

【谷野】

あくまで日本学連として、全学年の状況を踏まえた総合的な判断をして欲しい。

【谷野】

一つ出てこなかった観点として、選手権クラスが1:15000になるとセレも同様の縮尺となる。セレとなると、様々な選手層が走ることも考慮してほしい。

【谷野】

投票機能を用いて採決を行う。

→(1:10000 2人, 1:15000 12人)

→1:15000を採用する。

【谷野】

様々な観点、理由があるので整理して学連内に報告する。またセレに関しても1:15000で行うことを連絡する。リスクの回避については暑さ、練習不足を考慮してコース長や難易度等で調節するようセレ運営側とやりとりを行って欲しい。

2. インカレ提案資料について

【谷野】

日本学連としては、インカレに関して選択肢を提案する。それを各加盟団体内で話しあってもらい、各団体の意見で多数決をとり決定するという流れである。

【谷野】

加盟員に向けて行ったアンケートの共有をしたい。

1. インカレで重視すべきことは？

今まで通り、競技性にこだわった公正なインカレと皆が納得することどちらを重視するかに関して、どちらかというとながが納得することを重視する意見が多かった。

2. リスク

セレ、一般クラスに関しては難易度調整が必要だという意見があった。ただ一方で、実行委員会では現在のところ難易度の調整は行わない方向で進んでいる。

3. 練習機会の不平等性

意見は両極端に分かれた。練習機会の不平等性について考えなくてもいいと回答した人の中にはセレはある時点での能力を測るものだから平等であるという意見が中心であった。一方で、大学の活動再開時期によりばらつきがあり、練習機会の不平等性があるという意見もあった。

4. インカレ選手権の特別感

インカレ選手権の特別感を大事にする意見が多かった。選手権クラスがあるから頑張りたいという人が多いのではないかという印象を持った。

5. 翌年度の枠振り

来年度についても大切に考えて欲しいという意見が多いと捉えた。

6. 選手権競技性

選手権の特別感に関しては重要視されていたが、競技性に関しては、今年に限り、練習不足が考えられるので競技性を落とすでも仕方ないという考えが多かったように思う。しかし、実行委員会側としては例年通りで行いたいという意見が多かった。

【谷野】

次に副幹事長 大石、実行委員会と話しあって作った提案書について説明する。

(資料 2-1: インカレ提案書)参照

【谷野】

この幹事会では A 案、B 案、C 案についてブラッシュアップするための意見を聞きたい。

【谷野】

今後の流れとしては、A~C 案を共有後、zoom を用いて説明会を行い、質疑応答を行う。その後、各校で話し合ってもらい意見を出してもらおう。決定に関しては投票にて行う。

(以下 提案書内容の読み上げ)

【谷野】

選手権に出られる人数に関しては 6 月 24 日 (水) に実行委員会から連絡を受ける。その連絡により B 案での日学枠の人数、C 案の選手権出場人数が決まる。

【粟生】

B 案の日学枠は学連枠とは異なるのか。

【谷野】

そうである。全国的に募集をかけてその中から基準を満たしている選手を選考する。地区学連のバランスは考慮しない。

【粟生】

普段のインカレよりも参加者人数は増えるのか。

【谷野】

例年は男子選手権 60 名、女子選手権 30 名であるが今のところ男子選手権 70 名、女子選手権 35 名を見込んでいる。

【粟生】

B 案はセレに通らなかった人の補填という考えで良いか。

【谷野】

あくまでセレクションが終わってから推薦を行う。実力があるのに練習不足により通れなかったり、新人で練習不足でセレには落ちたが、他の大会では良い成績を残している人を救うことが目的である。

【粟生】

日学枠で選手権を走った人も枠をもらえるのか。

【谷野】

可能である。来年度枠に関しても 30 人の学連バランスを考慮して振り分ける。

【佐藤】

B、C 案の選考方式についての話であるが、技術委員会に選んでもらうことに関しては賛成であるが、最終決定は自己推薦を行

なった選手の所属する団体のOB,OG,オフィシャルがいる場で決定するべきである。不公平に不利な状況であるとき何か意見の言える人がいる場所で最終決定がなされたという事実を作ることが大事であると考えている。

【谷野】

選考委員による推薦は、自己推薦を出した選手が加盟する団体のオフィシャルの前で説明しながら発表する。そこで不平、不満がある場合は受け付けるという解釈で良いか。

【佐藤】

そうである。一度意見を言える場を作っておくと後でゴタゴタすることがないように思う。

【谷野】

C案でも同様のことが必要か。

【佐藤】

誰かを選ぶということが生じた段階で、各校の代理人がいる場で決めることは大事だと考えているのでC案でも必要であると思う。

【谷野】

C案は70人もの選手を選ぶことになるので、物理的不可能性を孕んでいる。技術委員会にもまだ確認をとっていない。

【谷野】

決定に対して、質問を受け付けたり、選考経緯を示す必要があるということに関しては参考にしたい。

【谷野】

2年生に関して2019年4月からの大会の結果を利用することは少し不利になるように感じられるがどう考えているか。

【永山】

不利は生じていると思う。しかし基準を設ける必要がある場合、このような基準になるのは納得できる。

【菊池】

不利が生じるのは仕方ないと思う。

自己推薦基準として妥当ではあると思う。

【谷野】

インカレ実行委員会とも話しあったが、今年のインカレは何か

しらの不利、不平等は仕方ないと思う。

【名雪】

選手権参加人数に制限をかけることなく、希望者全員が選手権を走ることができるのならば不平等性がなくなっていいのではないかと考えていた。

実際、運営キャパシティーのような現実問題を考えると、出場人数に枠を設けなければならず不平等が解消できないこと、運営、日本学連の負担を考えるとC案は現実的ではないように思う。選手権の不平等性を受け入れて、それでも救済措置のあるB案が今年においては妥当であると考えている。

【谷野】

私自身も希望する選手全員が選手権クラスを走れることを望んでいたが、物理的に不可能であり、インカレまでの3ヶ月でどうにかできる問題でもない。

【谷野】

C案が選ばれたとしても70名ほどを選ぶ必要があり物理的に厳しいものがある。C案をそのまま残しておくべきかどうか意見を聞きたいので、フォームに投票してほしい。

→ (C案 必要2人, 不要11人)

【谷野】

C案が必要だと思う人の意見が聞きたい。

【滝澤】

C案が必要派に投票した。

技術委員会に負担がかかることは分かるが、可能であれば各加盟校に提示する段階では残しておいて欲しい。

【谷野】

日本学連の問題でもあるが、現在、技術委員会はほとんど機能していない。個人的には技術委員会にはあまり期待しない方が良く考えている。

【滝澤】

それならば各校に提示する必要はないように思う。

【片岡】

日本学連としてC案を含めた議論を行った証拠を残した上で提案すべき。加盟員に、提示した選択肢に至るまでの経緯、議論の過程を説明する段階が必要だと思う。

【谷野】

今回の幹事会は録画して議事録を作成してもらう。
また、「C案を考えたが、物理的に厳しいという意見があったので消した」というような選考過程はしっかりと明示したい。

【谷野】

意見がないようなので、A案、B案の2つを各校に選択肢として提示する。

※議論の途中、金澤,名雪が参加した。

※議論後、名雪が退出した。

3. 新入生向け動画に関して

【佐藤】

日本学連が主導して初心者向けのオリエンテーリング解説動画を作りたい。

【資料3-1 日本学連主導の新人向け How To 動画についての提案書】

【佐藤】

新歓もままならぬ、これからもこれまで通りに山に入れるとは限らない中、新人教育に割ける時間もどれくらいあるかわからないので、そのサポートをしたい。

また、これまで新人の技術向上が各団体の上級生に委ねられているが、上級生がいない選手、話すことがあまり得意でない選手の技術向上に役立てられるものを作りたいと思い考案した。

【佐藤】

資料と異なっている点があるが、オリエンテーリングの新人クラスの解説動画を作成したい。整置、CPの説明等を実際に走る映像とともに説明する勉強用の動画と復習用のインカレ新人クラスのコース解説動画を作って出せたら、様々な人の助けになると考えている。

【佐藤】

試作品として次回幹事会でトレインに入って動画を撮り、編集、作成する予定である。

【谷野】

今後の方針は、第一段階として次回幹事会で、山川氏にMF程度のコースを組んでもらい、実際に撮影し、動画を作成する。第二段階として他の学生大会やインカレの運営者をお願いしてMF,WFの解説動画を作成するよう提案する。

【佐藤】

今のところ、名雪(筑波3年),坂巻(十文字2年)が撮影,編集に協力してくれる予定である。

【谷野】

遠方ではない幹事はぜひ幹事会当日の午前に来て、撮影に協力して欲しい。

【谷野】

意見が出てこないが、もし何か意見があれば谷野か佐藤まで連絡してほしい。

(以上)